

令和7年度使用教科用図書調査専門委員会 調査研究報告書 観点・着眼点（種目名 英語）

観 点		着 眼 点
1	学習指導要領との関連	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにするための工夫・配慮の程度はどうか。
		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養うための工夫・配慮の程度はどうか。
		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うための工夫・配慮の程度はどうか。
2	「コンパスぷらん（第4期名古屋市教育局教育振興基本計画）」との関連	「自分に合ったペースや方法で学ぶ」ことができるような工夫・配慮の程度はどうか。
		「多様な人と学び合う」ための工夫・配慮の程度はどうか。
		「夢中で探究する」ための工夫・配慮の程度はどうか。
3 内 容	(1) 内容の選択	人権の尊重や教育の政治的中立に関する配慮の程度はどうか。 実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語材料及び題材の適切さはどうか。また、外国の人々及び日本人の日常生活・風俗習慣・文化・ものの見方・考え方等に関するものを含めて、国際理解に役立つ題材の適切さはどうか。
	(2) 内容の程度	外国や日本の生活の文化及び習慣について理解を深めるとともに、言語や文化への関心を高めるような工夫の程度はどうか。また、補充的な学習や発展的な学習等の内容の適切さはどうか。
	(3) 内容の構成	教材の系統的・発展的な組み立てや、その配列の関連の適切さはどうか。また、思考力・判断力・表現力を働かせて言語材料を使う場面が繰り返されるような工夫の程度はどうか。
4	タブレット端末の活用	タブレット端末を活用して学習の効果を高めるための工夫の程度はどうか。
5	表記・表現及び使用上の便宜等	音声・符号等の配慮の程度はどうか。また、本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等の関連や目次・索引・注・凡例・諸表・資料の適切さはどうか。
6	印刷・造本等	「ユニバーサルデザイン化の観点から印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等」、「造本の堅ろうさや体裁」、「再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮」など印刷造本等の工夫の程度はどうか。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書（種目名 英語 1/2）

観点	発行者		開隆堂		三省堂		
	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	
1	学習指導要領との関連	○	言語材料の知識と技能を基盤とし、自分で思考し、判断したことを表現することで深い学びを実現できるように編集されている。	○	習得した知識・技能を活用して、自ら思考・判断・表現することで学びに向かう力と豊かな人間性を育てよう構成されている。	○	目的・場面・状況に応じて生きて働く知識及び技能を確実に向上させられるように編集されている。
		○	Unit Activity, Stage Activity, Real Life Englishのページで目的・場面・状況が明示されており、それを意識した言語活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成できるように編集されている。	○	Review and Retellで、本文の内容を再話す活動を通して、内容を整理して自分の言葉で話す活動が設定されているのが特徴的である。Actionのページでは、本文内容の延長となる目的・場面・状況が設定されており、言語活動に取り組みやすくなっている。	○	単元末課題となるGoal Activityでは、イメージしやすく身近な目的・場面・状況が設定されており、生徒が言語活動に取り組みやすいように工夫されている。
		○	「学び方コーナー」では英語学習のポイントやこつをいつでも参照できるように巻頭にまとめ、生涯英語を学ぶ主体的な学習態度を育成するよう編集されている。	○	Our Project では、発表活動後に自分の発表の振り返りができるよう設定されているため、主体的に次の活動に向かう態度を養うよう編集されている。	○	目標の設定、活動への取り組み、振り返りというサイクルの中で、生徒が主体的に学びに関わり、学習を自己調整する力を養うよう編集されている。
2	「コンパスぶらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」との関連	○	教科書冒頭に「学び方コーナー」のページが設定されており、英語学習のコツが示されている。また、巻末に学年ごとと、該当学年の各学期に対応したCAN-DO リストが掲載されており、生徒が自身の具体的な姿で到達度を確認でき、学習の調整に生かせるようになっている。	○	動画コンテンツや単語学習アプリなどデジタル教材が充実しており、自学自習がサポートされている。また、巻末のCAN-DOリストではProgramごとに到達したい具体的な姿が細分化されて示されており、自分で学習方針を立てるために役立てることができる。	○	For Self-studyのページで、効果的な学び方の情報が示されている。単元末課題のTaskに向けた目標が各Lessonのとびらページに明記されており、生徒はそれを意識して学習できる。また、巻末のCAN-DOリストでは大まかなくくりで、到達したい具体的な姿が示されている。
		○	即興力を育成するために帯活動用のSmall Talkが巻末に掲載されている。教科書本文に絡めて、中学生が話したくなるようなテーマで様々な表現が編集されている。	○	即興でのコミュニケーション活動を行うSmall Talkのコーナーを各PROGRAMに3か所ずつ設け、互いの考えや気持ちを伝え合う活動が編集されている。	○	Small Talkでレッスンのテーマやトピックに関連した会話を行うことで、学習への動機付けができる。ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように編集されている。
		○	協働して問題解決を行う活動やグループでの発表活動などを教科書全体で豊富に用意し、探究型の学びの機会を担保できるよう配慮されている。	○	日本食などの身近なテーマから、社会問題、平和や国際貢献に関する話題まで、他教科との横断的な指導がしやすい題材を多く取り上げ、探究学習に取り組めるよう配慮されている。	○	社会科、理科、技術・家庭科といった他の教科との関連性をもたせた題材や歌などを扱っており、探究学習へ発展させることができるよう配慮されている。
3	(1) 内容の選択	○	「ダイバーシティメモ」として、多様性への気付きを促したり、登場人物の出身国を英語圏、非英語圏、日本と多様な世界の国々からステレオタイプを避けて設定したりするなど人権的配慮が十分にされている。	○	多様なものの見方や考え方を思考・判断できるように、日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生等を題材とするなど人権的配慮がされている。	○	登場人物などについて、性別の偏りがなく、出身地域や人種、身体的特徴について多様な設定を用いており、人権的配慮がされている。
		○	生徒の好奇心をかきたてる教材を取りそろえ、生徒が自ら学びたくなる教科書になるように編集されている。 マララ・ユスフザイ 東日本大震災 ガンディー	○	日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生などの現代的課題を扱い、多様なものの見方や考え方について学べるように工夫されている。 エルトゥールル号 インド童話 中村哲	○	環境や人権、平和など社会的な話題について書かれた英文を読んで、実際の自分たちの身の回りにあることと関連させて考えられるように工夫されている。 ○ イギリス文学 落語 キング牧師
		○	各Unitに設定されているRead and Think1,2に、Round 1~3として段階的に読みを深められる問いが示されているのが特徴的である。取り扱われている語彙数は約1700語で、文法事項はGrammar for Communicationのページで項目ごとにまとめて学習できるようになっている。	○	各Programで視覚的に理解がしやすい2コマ漫画を題材として導入し、短い対話文から説明文へと段階的に難易度を上げる工夫がされている。取り扱われている語彙数は約1600語で、文法事項については、各Programに設定された「英語早わかり」のページで振り返ることができる。	○	各PartのScene1でイラストと音声で内容を導入し、Scene2で関連する英文の学習に進み、それがGoal Activityにつながるという形で、段階的に難易度が上がっている。取り扱われている語彙数は約1600語で、文法事項については、各Lesson末にあるLanguage Focusでふり返ることができる。
4	(2) 内容の程度	○	言語を使用する目的・場面・状況を意識して活動に取り組めるような仕組みになっている。	○	言語の使用場面を扱うコーナーがOur Project、Power-Up、本文などと多岐に渡っていることで、読解やパフォーマンス活動などさまざまな角度から学ぶことができるような仕組みになっている。	○	目的や場面、状況に応じて、自分の考えを整理して伝える活動や、相手とやり取りしながら、自分の意見を形成し、伝え合うことができるような仕組みになっている。
		○	二次元コードから、各ページの本文、語句の音声を確認でき、各Unit導入のためのPreviewアニメーションも見ることができる。また、資料編が充実しており、国内外の名所や特産品などについての多くの英文を参照できる。	○	二次元コードから、各ページの本文、語句の音声を確認できるだけでなく、文法説明の動画や、単語学習用のアプリケーションを使用することができる。	○	二次元コードから、各ページの本文、語句の音声を確認できるだけでなく、本文のアニメーションの閲覧や単語練習などができる。また、発音チェックとして、自分の発音が正しいかをチェックする機能もある。
		○	構成を規則的にして、学習のユニバーサルデザイン化が図られている。余白スペースが確保されており、教科書に書き込みながら学習できるように工夫されている。	○	新出表現の導入に2コマ漫画を提示し、会話内容が視覚的に理解できるように配慮されている。音読チェックやGOMLチェックがあり、自学自習を促す編集がされている。	○	カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりや、明確な紙面構成など特別な支援が必要な生徒にも配慮されている。「ふり返し」チェックリストがあり、目標を意識しながら学習できるように工夫されている。
5	表記・表現及び使用上の便宜等	○	指導時間を配当するページは増やさず、生徒が発信するためのヒントを探し出す資料が紙とデジタルで手厚く用意されている。	○	造本は丁寧で堅牢で、環境に配慮した用紙やインキを使用している。	○	印刷は鮮明で、見やすく、製本は堅牢であり、長期間の使用に耐えられる。
		○					
6	印刷・造本等						

※ 着眼点ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書（種目名 英語 2/2）

観点	発行者		光村図書		啓林館		
	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	
1 学習指導要領との関連		習得した知識・技能を統合的に活用するためのコミュニケーション活動が段階的に選択・配列されている。		第二言語習得理論に沿って、習得した知識・技能を段階的にコミュニケーション活動に繋げていく工夫がされている。		目的・場面・状況に応じて活用できる知識・技能の習得を目指したコミュニケーション活動が適切に配列されている。	
		各LessonのTaskで目的、場面、状況が示された言語活動が設定されているが、広がり、深まりに乏しい。また、日常生活に即したUseful Expressionsのページも設定されているが、生徒に言語活動をさせるための工夫が不十分である。		各Unit冒頭のどびらのページと、GOALのページそれぞれに、目的・場面・状況が明示されており、言語活動を行いやすくするために工夫されている。		各Unitの単元末課題となるRead and Think やThink and Writeなどでは、目的・場面・状況の設定があり、言語活動ができるようになっているが、生徒が取り組みやすくするための工夫に乏しい。	
		主体的な学びを促進し、対話的な学びへと導くため、生徒の興味・関心に合った題材をLesson本文及び活動やProjectの活動の題材として編集されている。		Unit扉には当該Unitで身に付ける力をGoalとして明示し、各UnitのGoalとYou Can Do It!には、振り返りのコーナーを用意することで現在の自分の達成度を評価するとともに、次の言語活動への意識付けもする工夫をし、主体的な学びを進められるよう編集されている。		CAN-DO Listでは、各学年の学習到達目標と教科書での関連項目を明示するとともに、各UnitのとびらにはUnitの目標を明示し、単元末ではCheckで振り返りの機会を設けて、主体的に学習に取り組む態度を育てるよう編集されている。	
2 「コンパスぶらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」との関連		Tipsのページで、英語の技能を高めるコツが示されており、生徒が自分で学習するための参考となる。また、巻末のCAN-DO 自己チェックリストでは各技能における到達したい具体的な姿が示されている。各Lesson末ではGoalとしてそのLessonの目標に対する達成度を自分で確認できるようになっている。		巻頭で「どのように英語を学ぶのでしょうか」のページと「ICTを活用しよう」のページが設定されており、自分で学習するための方法が示されている。また、各UnitのGOALに明示されている振り返りの項目と巻末にあるCAN-DO Listの対応が明示されており、参照しやすくなっている。		英語の学び方のページが①～③まで設定されており、学習方法について丁寧に説明されている。また、巻末のCAN-DO Listでは領域ごとの到達目標が示されており、単元末のページにあるCheckと合わせて自身の学習について振り返ることができるようになっている。	
		Activity Plusでは、既習の言語材料を用いて様々な話題における応答例を示しながら、ペア・グループによる口頭練習に継続的に取り組めるように工夫されている。		Story Retelling, Active Words, Let's Talkなどの帯活動用の活動が編集されていて、即興的なやり取りを楽しみ繰り返すことができるように工夫されている。		Express Yourselfで、ListenやSpeakで身に付けた技能を使って自己表現ができるように構成されている。	
		他教科とのつながりがある題材を多くの単元で取り上げ、探究学習へ発展させることができるよう配慮されている。		環境問題、安全・防災、インクルーシブ教育、我が国の郷土や伝統文化などを題材として取り上げ、探究学習へ発展させることができるよう配慮されている。		他教科との連携を図り、教科横断的な学習ができるようにし、探究学習へ発展させることができるよう配慮されている。	
3 (1) 内容の選択		社会の多様性を踏まえ、イラストや表現など多様な視点から人権の配慮がされている。		登場人物などについて、性別の偏りがなく、人種、身体的特徴などについて多様な設定を用いてあり、人権の配慮がされている。		イラストや写真において、固定観念での性の区別をなくし、男女の社会的役割を平等にするなど人権の配慮がされている。	
		異なる背景をもつ人々とも主体的に自らの思いや考えを発信し合い、対話することができるように「生きて使える」実用的な英語が習得できるように編集されている。 ○ 手塚治虫 中村哲 落語		生徒の心をつかんで離さないリアルなせりふや展開で目的・場面・状況が分かりやすく編集されており、ストーリーを楽しみながら力が付けられるように工夫されている。 ○ アイヌ民族 杉原千敏 トムソーヤの冒険		生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する内容を編集し、英語力の向上だけでなく、人間的にも成長させられるような工夫がされている。 注文の多い料理店 オズの魔法使い スノーピー作者	
		(2) 内容の程度		本文の理解を助けるようなイラストが紙面上に少ないため読解の難易度が高く、単元末課題となるGOALの難易度も比較的高い。取り扱われている語彙数は約1650語で、Active Grammarのページで文法事項についてまとめられている。		各Unitの前半から、比較的英文の分量が多いページもあり、学習に取り組む難易度が高い。取り扱われている語彙数は約1850語で、Focus on Formのページで文法事項についての解説がされている。	
	(3) 内容の構成		各言語材料はコミュニケーションを支えるためにあるものとして、どのような目的や場面、状況で使われるかを生徒が理解できるように、Sceneとして構成されている。		UnitのGoalやYou Can Do It!で、理解したことを表現につなげる言語活動が工夫されている。		コミュニケーションの目的・場面・状況を明示し、生徒がそれらを意識しながら活動できるような仕組みになっている。
4 タブレット端末の活用		二次元コードから参照できるのは本文の音声と一部ワークシートのみであり、種類が少ない。また、ページ間のリンクがないため使用しづらい。		二次元コードから、音声や動画などが参照できるが、単元ごとのページとなっており、目次ページに移動できないため使用しづらい。		二次元コードから、本文の音声やアニメーション、単語の音声などが参照できる。単語の学習やピクチャーカードを通した本文の学習などの付加機能はない。	
5 表記・表現及び使用上の便宜等		カラーユニバーサルデザインに基づく配色、UDフォントなどを採用している。		日本語の表記は、UDフォントを使用している。全学年に渡って統一した表記・表現をしており適切な表記が身に付くように配慮されている。		カラーユニバーサルデザインに基づく配色、UDフォントなどを採用している。余白スペースが確保されており、教科書に書き込みながら学習できるように工夫されている。	
6 印刷・造本等		製本は網代綴じで、開本しやすく、堅牢である。		帯教材Sounds and Lettersでは両視音開きの製本を採用し「アルファベット」と「音と文字」の学習を効果的に関連づけるとともに、教科書を折って単語を読む練習ができるよう工夫されている。		開きやすく、堅牢なPUR製本が採用されている。	

※ 着眼点ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書「各教科固有の追加調査事項」(種目名 英語)

事項	東京書籍		開隆堂		三省堂		教育出版		光村図書		啓林館	
	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴
5領域を総合的に身に付けられるよう工夫されているか	○	Unit, Stage Activity, Real Life EnglishとLet's Readの3つの主要単元で、複数の領域の知識・技能の習得と活用を繰り返しながら思考力・判断力・表現力等の育成ができるように工夫されている。		各ProgramはScenes→Tuning in→Part→Review & Retell→Actionとなっており、知識・技能の習得と活用をスモールステップで繰り返し行い、4技能5領域の学習がバランスよくできるように工夫されている。	○	各LessonはPart1～3→Goal Activityとなっており、Goal Activityに向かってバックワードデザインされた単元構成となっている。目的・場面・状況に応じて伝える内容やアイデアを考える工夫がなされており4技能5領域をバランスよく学ぶことができる。		各LessonはPart1～3→Taskとなっており、複数の領域の知識・技能の習得と活用が繰り返し指導できるように工夫されている。Projectでは学んだ知識・技能を活用し、自己表現活動に取り組みめるように課題が設定されており思考・判断・表現力等の育成ができるように編集されている。		各UnitはPart1～3→Goalとなっており、複数の領域の知識・技能の習得と活用が繰り返し指導できるように工夫されている。You Can Do It!では、目的・場面・状況に応じて取り組む課題が設定されており、思考・判断・表現力等の育成ができるように工夫されている。		Unit, Project, Let's Talk, Let's Listen, Let's Readの主要単元で構成されている。Projectでは、4技能5領域を統合する活動を設定し、思考・判断・表現力等の育成ができるように工夫されている。
互いの考えや気持ちを伝え合う活動などの言語活動を通じた学習が展開されるよう配慮されているか	○	Unit内の各ページで単元末課題のUnit ActivityにつながるActivityが設定されており、それを積み重ねると言語活動が行いやすく、充実したものになるように工夫されている。		Actionのページでは、自分の考えや気持ちを表現する活動が効果的に設定されているが、各Partにはそのような活動が乏しい。	○	各パートで言語活動につながる自己表現をするための、Think about Yourselfが設定されている。また、Projectのページでは、自分の意見や考えを表現しやすくするための構成がされている。		Lesson内のThink and Tryや単元末のTaskのページで自分の考えや気持ちを表現する課題が設定されているが、質、量ともに十分ではない。		各パートのSpeakやWriteでabout youと示されているものや、Goalページには自分の考えや気持ちを表現する活動が設定されているが、Goalに向けて段階的に進める工夫は十分ではない。		各PartにあるExpress Yourselfで自分の考えや気持ちを表現する活動に繰り返し取り組むことができるようになっている。
言語材料と言語活動とが効果的に関連づけられているか	○	Unit Activityでは、各単元で学習した言語材料を用いて自分の考えをまとめたり、記事を書いて発表したりすることで、思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫されている。	○	Review & Retellでは、各単元で学習した言語材料を基に、それらを自分の言葉に置き換えて相手に伝える活動を行うことで思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫されている。	○	Goal Activityでは、目的・場面・状況に応じた言語材料を用いて、写真等を効果的に用いながら発表を行うことで思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫されている。		言語材料を学習の進度や言語活動との関連を踏まえて、段階的に配置することで、思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫されている。		言語材料は使用場面や働きを結びつけて指導できるように配列されており、段階的に扱うようになっている。思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫されている。		小学校での既習事項や、各学年の目標などに基づき、言語材料を配列することで、思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫されている。

※ 事項ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。